

# ハガタ 子ども会

No.132

日頃より子ども会活動に格段のご支援、ご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、昨年は台風による影響で十  
月のジュニア・リーダー中級研修会  
を中止した他、一月下旬から広まつ  
た新型コロナウイルス感染症の影響  
で三月の研修会、五月の総会、遊びの  
ひろば等、参加される皆様の安全を  
考慮し中止させていただきました。  
今後も感染拡大の影響で活動が開催  
できるか現段階では判断できません  
が、子どもたちにとって、楽しい思い  
出となる活動が早く実施できるよ  
う、心から祈念しているところです。

このウイルスによる感染は想像以  
上に全国的な広がりをみせ、三月、  
四月の卒入学のお祝いも出来ないま  
ま新年度突入となり、ご家族で楽し  
みにされていた卒業旅行や子ども会  
での歓送迎会、お花見、交通安全教  
室等の中止など、うきうきと春へと  
向かう気持ちとは裏腹の先の見えな  
い不安と天気が良い季節に外遊びが  
出来ない子どもの心身への影響も危  
惧されています。子ども会活動に関  
わらず、様々な事業にも影響があつ  
たことと推察致しますが、ウイルス  
の感染拡大防止対策により休校を余  
儀なくされた子どもたちのために、



タブレットやスマホ等から流れぐる学校職員からのメッセージ配信や工作教室、学習の提供など、まさに現代の情報化社会が発展した今日だからこそ出来る方法で、多くの方が子どもたちを支えようとした取組みがあつたほか、各家庭で時間を有効に過ごす工夫している様子が色々なところで見うけられました。また、三月には山梨県のある中学生がマスク六百枚を作り、県庁に届けたというニュースもありました。材料費としてお年玉で貯めたお金を使い、期末テストが終わった二月下旬から作成し、多い時には一日三十枚以上も作った日もあったと聞きました。近年の少子化による異年齢交流や自然体験・生活体験の不足、困難を乗り越える力の低下などが指摘されましたが、このニュースを聞き、苦境なときこそ、他者を思い、自分で何ができるかを考えられるよ

## 今後の予定

### ●三役・部長会

八月二十二日(土)

### ●第一回理事会

九月十三日(日)

### ●第二回J-Jシ中級研修会

十月三日(土)～四日(日)

### ●第一回関ブロ実行委員会

十一月八日(日)

### ●第二回理事会

十一月六日(日)

### ●第一回関ブロ実行委員会

十一月八日(日)

一般社団法人新潟県子ども会育成連合会 会長 須田貴子

うな中高校生のジュニア・リーダーを育てたいと強く思ったニュースで  
もありました。(写真は関東ブロック山梨大会での活動の様子です)  
最後になりますが、今後は状況の変化に応じ、隨時対応を検討してまいりたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

## 人を思いやれる子どもの育成を地域と共に





## 子ども・若者を地域人材に

中越教育事務所社会教育課

課長 森山 義紀



一緒に活動している地区もあります。

中越地区でも、中・高校生がリーダーやスタッフとして活動する事業が行われています。

・中・高校生などのリーダーを養成、地域活動に派遣する「子ども会等リーダー養成・地域活動推進会」



### 四 子ども・若者の意思決定と社会参画を大切に

放送大学客員教授・千葉大学名誉教授の宮本みち子氏は、「若者が将来を切り開くには、自ら声を上げて社会環境づくりに参画することが必要だが、日本ではこうした動きはほとんど見られない。官民一体で若者の社会参画を推進しなければならない」と述べています。(公財明るい選挙推進協会発行「Voters五十号二〇一九」)。

これからは、私たち大人が「子ども若者を社会的な意思決定に参加させる意識」を持つことが重要です。社会教育・生涯学習を推進する中で、彼らに耳を傾け、できることが委ね責任を持たせたいものです。講座や研修会に参加した小・中・高校生が、次回の企画等を自ら練り上げたり運営したりする経験を積むことが、将来の地域を担う人材になる上での大きな意味を持ちます。社会全体で、若い世代が自らの学びを循環させ、広げていく環境づくりが求められています。

大人に交じり「少し年上」の中、高校生が活動する姿に、小学生は「自分も、いつかはスタッフやボランティアになるかも知れないな」と、身近な成長のモデルを意識します。小学校卒業で活動も卒業せず、参加する環境づくりが大切です。

**一 循環型生涯学習社会**

「第三次新潟県生涯学習推進プラン」(令和元年十一月策定)は「生涯学び活躍できる循環型生涯学習社会」を基本目標としています。人口減少・少子高齢化社会を踏まえ、学んだ成果が地域課題解決に活用され、さらなる学びに発展することが「循環型生涯学習社会」の姿です。その視点の一つは「学習成果を活かし、活躍できるための環境づくり」です。各種研修会や講座の参加者・修了者が、習得し学んだ内容を第三者に伝えたり、広げたりすることで「学びの循環」を生み出すのがねらいです。昨年度は、県開催の「家庭教育支援者養成研修会」の修了者が、希望する小学校の就学時健診の機会に「家庭教育講座」を開催しました。

**二 社会教育・生涯学習と子ども**

昨年度、小・中・高校生を対象に中越地区的各市町村で行われた社会教育・生涯学習事業の事例を挙げてみます。

- シルバー世代と子どもたちとの交流で伝統文化の循環をつくる「昔話・昔遊び」(弥彦村・出雲崎町)
- スポーツ協会に委託し、学校の運動部活動を補完する「つばくろい

### 三 子ども・若者の「学びの循環」

近年、運動会に卒業生の中学生がボランティアとして参加したり、夏休みの補習に中学生がミニ先生として教えて教えることなど、教えることから学ぶ「学びの循環」が生まれています。

**ニア短歌教室** (魚沼市)

中高校生の作歌を指導する「ニア短歌教室」(魚沼市)

### 事業

小学生対象事業に中学生がサポートとして引率指導する「よしだ探検隊」(十日町市)

かつての参加者が学生スタッフで参加する「夏休み妙高青少年研修」(田上町)

高校生スタッフが、各班の児童生徒を指導する「サバイバルキャンプ」(津南町)

## 下越地区

## みんなでがんばった夏まつり

燕市吉田法花堂子ども会

六年 田村 哲顕

僕の地域では、毎年夏まつりがあります。僕の町内では、一、二、三年生がおみこし。四、五、六年生が踊りをします。

午前中は、町内を周って、午後は駅前ですべての地域がそれぞれの踊りを披露しました。



練習は、週に一、三回あります。踊りを踊る学年が、公会堂や学校の体育館で練習をしました。大変だった事は、ふり付けを覚えることです。ふり付けは、二種類あり、午前と午後それぞれの違うふりを覚えました。



午前中は、町内を周って、午後は駅前ですべての地域がそれぞれの踊りを披露しました。まず、初めに神社にお参りに行きました。そのあとに町内を周りました。町内の人達が応援してくれてうれしかったです。

今年は、コロナウイルスでいろんな活動が延期、中止になりました。今年で僕は、学校行事が最後だけど、残っている行事を楽しみにしたいです。



## 佐渡地区

## とても楽しい一見祭り

一見子ども会

五年 廣瀬 心音

わたしの住んでいる地域には、毎年六月に「一見祭り」というお祭りがあります。

その中の一つに子どもみこしがあり、一見に住む保育園児から中学生までおそろいの青いはっぴを着て、ねじりはちまきをして、みこしをかついだり、たいこをたたきます。

その日には、みんな楽しそうに、みこしをかついで大きな声で「ワッショイ」と声を出します。その時には地域の人たちがたくさんおうえんをしてくれます。高学年



になる年になるとたいこをたたきます。年になるとたいこをたたきます。たまたま練習をするのでみこしもたいこもとてもはく力がありおもしろいです。途中の集落センターでは、休けいもできて冷たいジュースやアイスをみんなで食べたりします。

ゴール近くになるとみこしが重く感じられるけど、みんな一生けん命みこしをかつき、みんなで協力してゴールするとうれしくなります。みんなで協力してゴールすることがとっても大切な事だなあと改めて実感でき、チームワークも高まつたと思います。これからも一生けんめい一見祭りをみんなで盛り上げたいです。



## 上越地区

## 楽しかった交流会

板倉区針子ども会

六年 山田 夏希

ぼくは、板倉区に住んでいます。昨年、群馬の板倉町と、新潟の板倉区の子ども会交流会に参加しました。夏休み中の七月二十七日から二十八日までありました。

一日目の十一時三十分に群馬の人達がどう着しました。どんな人がいるのかわくわくしました。その後すぐにかんげい会をしました。また昼食と名し交かんをし、群馬の人達のことを知ることができました。午後に関田峠で信越トレイルを散策してみずばしいう森に行きました。班のみんなと楽しく話しながら歩いて良かつたです。バーベキューは天気が悪かったので、室内で食べました。その後、板倉区にあるやすらぎ荘という温泉にバスで行きました。温泉はあたたかく一日のつかれがとれたので、室内で食べました。その後、板倉農村環境改めんセンターに戻り、一日の反省をして九時三十分にねました。

二日目は、まず朝食を食べました。かた付けが終わりみかぶり山に行きました。登るのは大変だったけど頂上の景色はとてもきれいでした。その後、地すべり資料館でどのように地すべりがおきるの



か、いつ板倉区で地すべりがおこったのかなど貴重なことを知ることができます。最後にお別れの会をしました。二日間だけだったけど仲良くなれてよかったです。

参加してみて思ったことは、初めて会う人達と活動したりするのは、とても楽しいと思いました。また参加したいです。

## 中越地区

## 子どもフェスティバル

長岡市馬高・高寺子ども会

中学一年 清水 勇志

今回、初めて子どもフェスティバルに参加しました。子ども会での参加だったので、友達もいっぱいいて、参加しやすかったです。

最初にポイントラリーをしました。楽しく、仲良くできました。そのポイントラリーの中にゴルフ、サッカー、バドミントンなどのスポーツがたくさんありました。お昼には、とん汁がありました。おいしかったので、三ばいもおかわりしました。

そのあとに、自由行動になつたので、金魚すくい、丸太切り、玉づくりなど、いろいろな事に挑戦しました。

最後に閉会式で、ポイントラ

リーの順位が発表され、一位になりました。うれしかったです。

最後に閉会式で、ポイントラリーの順位が発表され、一位になりました。うれしかったです。

（昨年度の文章より）



## 編集後記

今回号よりカラー印刷で発行することになりました。子どもたちが見やすい紙面となるよう、文字は少なめに、写真は多めに掲載します。

新型コロナウイルスの影響により、従来の生活様式や活動が制限される中で、子ども会の活動も、三密を避けながら社会的な距離を保ち、活動しなければなりません。どんな活動ができるか考えていくましょう。

## 【編集発行】

一般社団法人  
新潟県子ども会育成連合会  
〒九五一一二三一  
新潟市中央区百山浦一三〇〇  
電話〇二五三三〇一五二九八  
FAX〇二五一三三〇一五二九二